

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オレンジハウス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に対して育児に関する助言等の支援が行われている。	保護者と振り返りの時間を設けている。	今後も振り返りの時間を設けていく。
2	子どもは通所を楽しみにしているか。	子どもが楽しめるプログラムを工夫している。	今後も通所が楽しみになるプログラムの工夫、安心できる環境を提供できるよう職員の情報共有をはかる。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている。	計画的にアセスメントを実施し、関係機関と情報共有をはかる。	関係機関との連携を密にはかる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートの結果を通信・ホームページ等で公開しているか	ホームページで公開しているが、公開されていることの周知が徹底されていないと思われる。	通信で保護者へ伝えるようにする。
2	職員は資質の向上を行うために、研修等に参加しているか	各種研修等には、参加しているが、保護者に十分に伝わっていないと思う。	研修等があった場合には、その都度、通信で保護者に伝えるようにする。
3	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各マニュアルは策定済みだが、保護者にマニュアルがあることが周知できていない。	マニュアルを保護者に見える位置に掲示するなど対策が必要。契約時に説明する、また玄関へ掲示するなどしていく。